



# しだ光保県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 銚子にSLがやってくる!

### 信田県議の永年の要望が実現

## ジオパーク認定で県の支援を要請



銚子～佐原間を走ることが決まったSL

県議会の農林水産常任委員などを務め、議会内でますます発言力を強める銚子市選出の信田光保(しだ・みつやす)県議は、9月定例議会で再び一般質問に登壇し、銚子・九十九里地域の観光振興などを訴えました。この中で、春の房総観光キャンペーンでSL列車を銚子まで運行するよう、森田知事に強く要望した結果、議会閉会後の10月17日、JR東日本千葉支社は、来年2月に銚子～佐原間で「快速SLおいでよ銚子号」を運行することを記者発表しました。SL列車が銚子地域を走るののは初めてで、信田県議の呼びかけた「SLが東の端の銚子まで、夢と希望を乗せて走る」ことになりました。その他の質疑と合わせ、特集しました。

### 9月県議会一般質問に登壇

**信田県議の要望**  
 銚子市は来年2月、市制80周年を迎え、現在、市民・関係者・行政等一体となって、さまざまな記念行事を企画しており、地域活動と地域経済の活性化を目指し、新しい街づくりに取り組もうと頑張っております。

県では、毎年1月から一足早い春の暖かい房総を多くの人に感じていただきたいと、官民一体となって「早春キャンペーン」を展開し、さまざまなイベントの実施など行っています。



本会議場の壇上から質問する信田光保県議

信田県議らの要望を受け、JR東日本千葉支社は10月17日、春の房総観光キャンペーンとして、来年2月9日(土)から11日(月)祝までの3日間、「快速SLおいでよ銚子号」を銚子～銚子間で走らせることなどを正式発表しました。成田線でSL(C61-20号機)が運転されるのは初めてです。

## JR東日本が初めて佐原～銚子間で

信田議員 東日本大震災以降、千葉県の観光業は危機的状況でした。先日公表された夏季の観光客入り込み状況でも、昨年よりは増加したものの、震災前の一昨年と比べると、まだ観光客は戻ってきておらず、海水浴客などは一昨年と比べ3割減と、海を敬遠する傾向がみられるとのこと。

対し、県は今までのような対策を講じてきたのか。また、これからのような対策を講じていくのか。 商工労働部長 県では、震災により直接被災した銚子・九十九里地域の中小企業の一刻も早い復旧・復興を図るために、国のグループ補助金を活用し、昨年度は水産加工グループ49事業者に約13億8千万円を、今年度は観光グループ63事業者に約8億5千万円の補助を行い、支援に努めています。

また、同地域に多くの観光客に訪れてもらうため、6月に在京メディアのモニターツアーを実施したところ。イルカウォッチングや屏風ヶ浦の風景がスポーツ紙などに大きく報道されたところであり、今後こうした積極的な情報発信に努めてまいります。

●県政や銚子市のご相談をお気軽に  
お寄せください...

**しだ光保事務所**  
 〒288-0044 銚子市西芝町13-20 Jビル2F  
 TEL. 0479(25)3284 FAX. 0479(22)1816

# 黒生地区の2港口化の整備求め

## 9月県議会一般質問 銚子市特集

# 今こそ、銚子漁港を総合漁業基地へ!



2港口化の整備が進む黒生地区



自席からメモを手に再質問する信田県議

信田議員 震災後、特に北部太平洋の要である銚子漁港の存

在、重要性が増している中、今こそ、銚子漁港を総合漁業基地として一層整備する

ことが求められています。北部太平洋のまき網船団からも、新たな銚子漁港の開港に期待が寄せられています。が、銚子漁港の黒生地区における2港口化に向けた整備状況はどうか。

農林水産部長 銚子漁港については、漁船の混雑を解消するとともに、冬季波浪時にも安全に入出港できるように、これまで川口側に加え、黒生側にも出入り口を確保する2港口化へ向けた漁港整備を推進しています。

現在、黒生地区において、大型まき網船にも対応できるマイナス7.5メートル泊地の静穏を確保するため、南内防波堤の整備を進めているところです。引



最先端の衛生管理型市場を視察する 信田県議(中央)(青森県 八戸漁港)

信田議員 高度衛生管理基本計画に基づき、25、26年度の2カ年で、銚子漁港の第一市場の整備が実施されようとしています。その取り組み状況はどうか。

農林水産部長 銚子漁港は、生産・流通の拠点漁港としてその重要性から、市場の衛生管理体制の強化が求められる中、国は本年8月、生鮮マグロ類を扱う第一市場の陸揚げ岸壁と荷さ

## 第一市場の衛生管理整備を

き続き、2港口化の平成28年度完了を目指し、黒生地区の新航路の整備などを進め、本県の水産業を支え、水産物を安定供給する重要

な役割を担う拠点漁港として、一層の利便性向上を図ってまいります。

銚子漁港の2港口化については、平成28年度までの完成を目指してはいますが、時間が勝負であり、さらなる廻船誘致に向けて1日も早く完成させたい。

## 海匝地域の活性化訴え!

信田議員 均衡ある千葉県の発展に向け、遅れている海匝地域の実情を知事はどう認識しているのか。

森田知事 少子高齢化の進展や経済の低迷が、各地域に大きな影響を及ぼしている中で、特に海匝地域では、人口減少が長く続いて

## 旭中央病院の機能強化

信田議員 旭中央病院への患者集中を緩和するため、旭中央病院の機能強化を図るため、高度先進医療設備を持つ新本館建設等に対して助成を行うとともに、地域医療再生基金を活用し、がん・救急患者等を受け入れる「地域医療支援病床」33床の増床を平成23年度に行いました。また、自治体病院への医師派遣を行い、地域の医師がスキルアップするための研修環境を整え、本年3月には同病院に「地域医療支援センター」を設置しました。

同病院と周辺自治体病院の連携を深めるための設備整備を進め、患者の集中緩和を図ってまいります。

しかしながら、この地域は本県の農林水産業を支える重要な拠点であるとともに、先月には、日本ジオパークに認定されるなど、観光資源にも恵まれています。また、来春には圏央道東金・木更津間の開通により、銚子連絡道路からアクアラインまでのアクセスが飛躍

的に向上し、物流や観光面への効果が期待されているところです。

県としては、海匝地域が自らのポテンシャルを十分に発揮し、活力ある地域づくりを推進できるよう、市町村と連携・協力して取り組んでまいりたいと考えています。信田議員の観光・地域活性化に対する非常に熱い言葉を聞き、私も一生懸命やらなければと思いました。